神様恋しくて追ってきた井戸
日本三霊泉のある息栖神社

神栖市息栖



神栖市の常陸利根川の傍らに鎮座する息栖神社。この神社は元々、下流地区の日川にありました。

その当時、海水が逆流してその地の水は塩味があったのですが、神社にあった井戸の瓶だけは清水がわいていたのです。それは、この瓶の底が地底に通じていて清水がわいていたのだそうです。この井戸の瓶は「忍潮井」と呼ばれていました。

ところが息栖神社は、大同二年（807年）に時の政権から現在の場所への移動を命じられました。残された井戸は神を慕って三日三晩泣き続けたそうですが、自力で現在地へとたどり着いたのです。それが、「男瓶」「女瓶」の二つの瓶です。現地を訪れると、息栖神社の一の鳥居の左右に小さな鳥居がそれぞれ水中に建てられています。

「男瓶」は銚子の形をしていて、「女瓶」は土器の形をしているそうで、水の澄んだ時にその姿を見ることができ、その姿を見ると幸運が舞い込むと伝えられています。

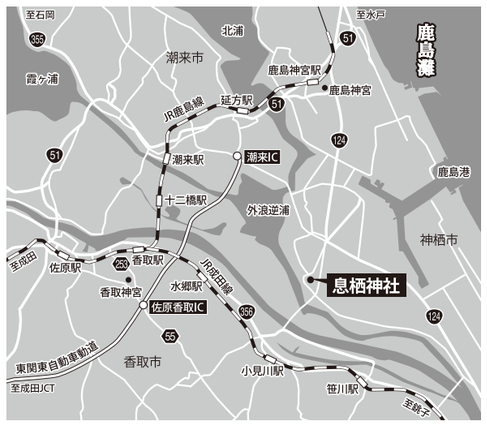
この井戸は伊勢の明星井と伏見の直井と共に「常陸の忍潮井」として日本三霊泉とされています。

ところで、この不思議な井戸のある息栖神社と鹿島神宮、千葉の香取神宮を直線で結ぶときれいな二等辺三角形となります。この三つの神社のトライアングルゾーンはパワースポットとして江戸時代には「東国三社巡り」と称して、参拝者が相次いでいたのです。

しかも、この三角形の頂点に位置する息栖神社から直線をひくと日光へと向かっている矢のような形を感じることができます。

神社の持っている不思議な位置取りはレイラインと呼ばれますが、不思議な位置関係は信仰へのロマンを引き立ててくれます。

〈参考文献〉息栖神社「案内石碑・社頭案内板」ほか



【アクセス】JR鹿島線鹿島駅・潮来駅からタクシーで約20分
車で東関東自動車道潮来ICから約15分

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく
ISUZU 茨城いすゞ自動車株式会社
本社／〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215（大代） http://www.ibaraki-isuzu.co.jp